

令和元年度「図書総点検」結果

令和2年1月15日

<日程>

12月3日(火)～12月17日(火) 11日間

<点検対象・総数>

開架閲覧室、地図資料など 約27万3千点

<その他>

- ・ 図書館管理システムの更新を行いました。
 - ・ 年々増加する資料の収蔵に対応するため、閉架の図書の移動作業を行いました。
 - ・ カウンター周辺および書架のほこり除去を行いました。
-

<概要>

12月3日(火)～12月17日(火)の11日間にわたり「図書総点検」を行いました。期間中は館内資料の完全配列、移動作業、蔵書データの突き合わせ作業等を行い、迅速かつ確実なサービスを行うための態勢を整えることができました。

<目的>

当館は100万点を超える蔵書があります。これらの中から、迅速かつ確実に資料を探し出すためには、コンピュータのデータどおり正しい場所に資料が置かれている必要があります。そのためには、実際に書架にある資料とコンピュータのデータを突き合わせ、正しい場所に置き直したり、資料やコンピュータのデータを必要に応じて変更・訂正したりする必要があります。この作業を「図書総点検」と呼び、当館では年1回定期的実施しています。

<日程>

当館は蔵書冊数が多く、一度に全蔵書を点検することは日程上困難なため、4年サイクルで一巡するよう蔵書を分けて点検(開架閲覧室の資料は毎年点検)しています。利用者みなさまにできるだけご迷惑がかからないよう、利用が比較的少ない時期を選びました。

<点検方法>

- 1 館内の全蔵書を背ラベルどおりに完全配列します。
- 2 ポータブルのバーコード読み取り機を使って、点検箇所全ての資料のバーコードを1冊1冊読み取ります。

- 3 読み込んだデータと蔵書のデータを突き合わせます。
所在場所とデータが違う資料や、所在が不明な資料等、問題がある資料がリストに打ち出されます。
- 4 リストに従い、所在不明の資料が書架の奥に落ちていないか、間違った場所に置かれていないかなどを探索します。
- 5 発見された資料を正しい場所に排架するとともに、必要に応じてラベルやデータを正しく修正します。

利用者みなさまには、当館の資料の整備にご理解・ご協力をいただきまして、ありがとうございました。